

観光×教育×環境サステナブルハブ整備事業

縄文×世界自然遺産プロジェクト

鹿児島県奄美市

# 1. 奄美市の特徴

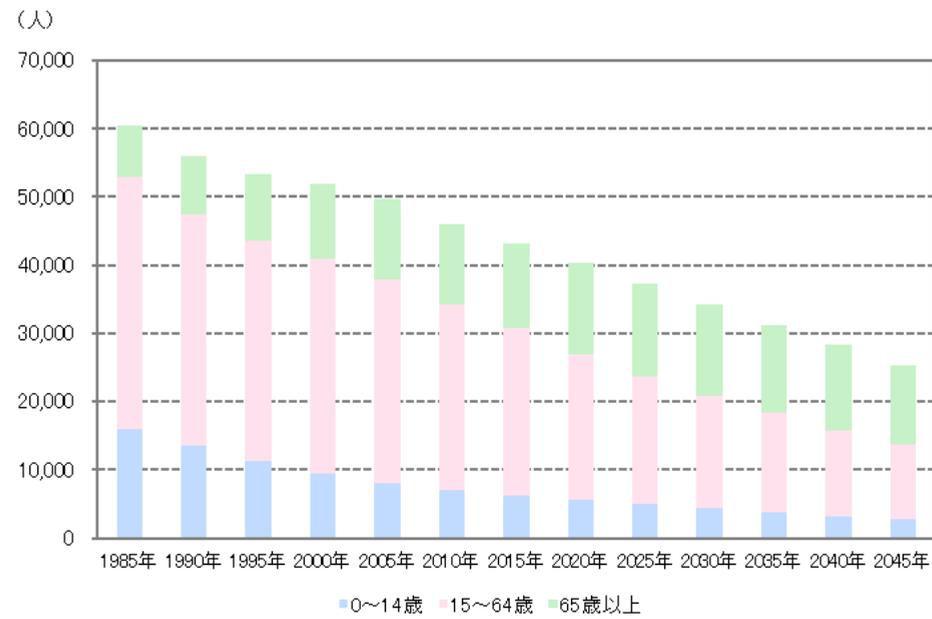
## (基本情報)

世帯数: 19,417世帯 総人口: 39,786人

面積: 308.33K<sup>m</sup><sup>2</sup>

地理条件: 鹿児島県本土から南西380kmに位置する外海離島

主要産業: 観光関連産業、農業(さとうきび、畜産、果樹等)



人口は、今後大きく減少していくと予想され2015年と比較して2045年には41.3%減少すると予測される。

高齢人口指数は全国を大きく上回る。



## (地域資源)

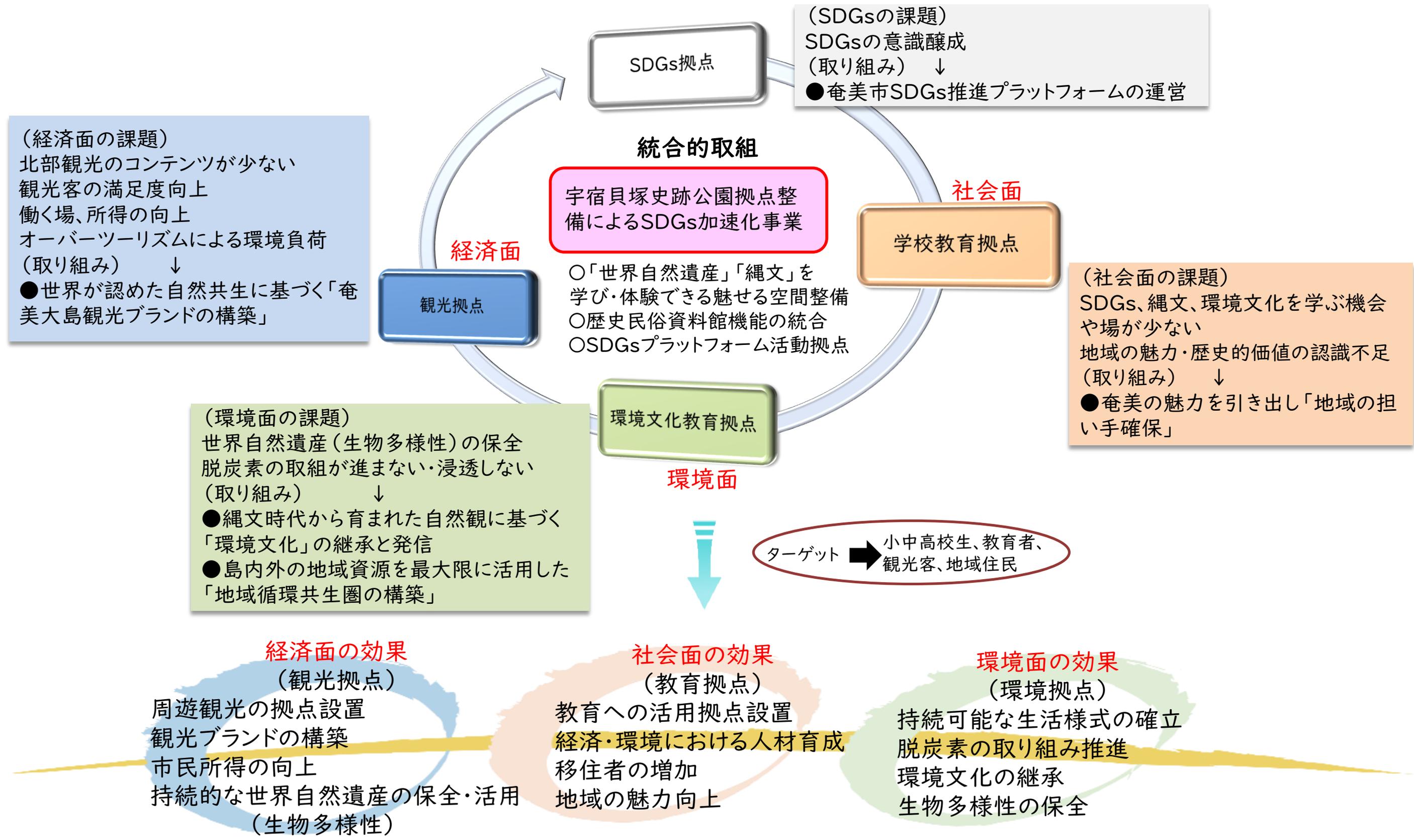
多様な自然環境を有し、世界的に独特で重要な絶滅危惧種や固有種の生息・生育地となっていることが世界的に認められ、令和3年7月26日に**世界自然遺産**へ登録された。

## (課題)

1. 観光資源の掘り起こし、観光コンテンツの充実、働く場の創出、所得の向上、観光客の満足度向上、遺産地域への環境負荷
2. 次世代の担い手に対する環境文化の継承及び地域の魅力・歴史的価値の認識不足
3. 歴史・文化・自然の学習機会の提供や情報発信不足、自然環境の保全及びカーボンニュートラルの推進

# 2. 自治体SDGsモデル事業の概要

## 観光×教育×環境サステナブル・ハブ整備事業 ～縄文×世界自然遺産プロジェクト～



「世界自然遺産」と「縄文」が織りなす環境文化経済循環都市の実現

# 2. 自治体SDGsモデル事業の概要

## 取組概要

縄文時代の生活様式を今に伝える「宇宿貝塚史跡公園」において、自然・動植物との共存共生による環境に負荷をかけない縄文型生活に「世界自然遺産」を併せ、SDGsの拠点として普及啓発を図りつつ、観光・環境・教育の三側面で**相乗効果**を生み出す。拠点において、多様な主体との連携した「SDGsプラットフォーム」活動を促進する。



**宇宿貝塚史跡公園**  
 縄文時代前期から中世にいたる複合遺跡で竪穴住居跡や土器、石器、埋葬等が発掘された。1986年10月7日に奄美で初めての国指定史跡となり、建物内には発掘調査の後がそのまま残されている。史跡公園開設から20周年の記念の年となり、縄文を今に伝えるイベントも計画している。  
 自然と共存共生し、発展するサステナビリティな縄文とSDGsの親和性は高い。



**プロジェクトのポイント**

- 01 SDGsの推進
- 02 脱炭素の推進
- 03 生物多様性の保全

奄美市SDGs推進プラットフォーム



- **奄美市SDGs推進プラットフォームの運営**
  1. オール奄美（多様な主体との連携）でSDGs推進
  2. 奄美版SDGsの創設・情報発信
  3. SDGs登録、表彰制度の構築
  4. 持続可能なシマづくり子供ポスター展の開催

- **世界が認めた自然共生に基づく「奄美大島観光ブランドの構築」**
  1. 世界自然遺産及び縄文を活用した観光振興（史跡を核としたツアー造成）
  2. 環境配慮型観光の醸成（人材育成・発信）
  3. ユニバーサルツーリズムの推進
  4. 観光人材育成（接遇レベル・情報発信能力向上）

- **奄美の魅力を引き出し「地域の担い手確保」**
  1. 学校教育・教職員研修での活用
  2. 島外からの修学旅行の受け入れ実施
  3. 地域の魅力発信と共に子供を見守る環境整備
  4. 島に帰る・暮らしたいを促す情報発信・魅力発信

- **縄文時代から育まれた自然観に基づく「環境文化」の継承と発信**
  1. 環境文化及び縄文時代の生活様式をSDGsと併せ分かりやすく発信
  2. 環境学習の機会の増加
- **島内外の地域資源を最大限に活用した「地域循環共生圏の構築」**
  1. 施設におけるゼロエネルギービルドの導入
  2. 地球温暖化防止活動実行計画に基づく伝統知と科学知の融合（集中的設備導入支援、伝統知掘り起こし）

### 3. 三側面をつなぐ統合的取組

## 宇宿貝塚史跡公園拠点整備によるSDGs加速化事業

### 取組概要

「自然・動植物とそこに暮らす人々が共存共生し、環境に負荷をかけない『**縄文型生活**』」、「世界に誇る自然環境・生物多様性と深い歴史が共に歩むことで、新しい価値を創造する『**環境文化**』」を同時に発信する拠点施設として、「宇宿貝塚史跡公園」のリニューアルを図るとともに、多様な主体と連携した「奄美市SDGs推進プラットフォーム」活動の活性化を図る。

### 取組による全体最適化

SDGsの推進にあたり、サステイナブルな縄文時代の生活様式を今に伝える「宇宿貝塚史跡公園」において、『**縄文型生活**』及び『**環境文化**』を学び、情報発信するなど、SDGsの拠点として普及啓発を図るとともに、観光・教育・環境拠点施設としての活用により三側面の相乗効果を目指す各種取組を行う。

また、上記施設を、奄美市SDGs推進プラットフォームの拠点として位置づけ活動を加速化するとともに、市が担っている事務局機能を会員団体へ移管し、多様な主体を巻き込むことで、地域に根差した多種多様な連携で全体最適化を目指す。

### 3. 三側面をつなぐ統合的取組

## 宇宿貝塚史跡公園拠点整備によるSDGs加速化事業

### 具体的取組

宇宿貝塚史跡公園拠点整備



事業実施経費にて、有識者等を含めた検討会を実施したうえで、施設の空間リニューアル設計、施工を実施する。

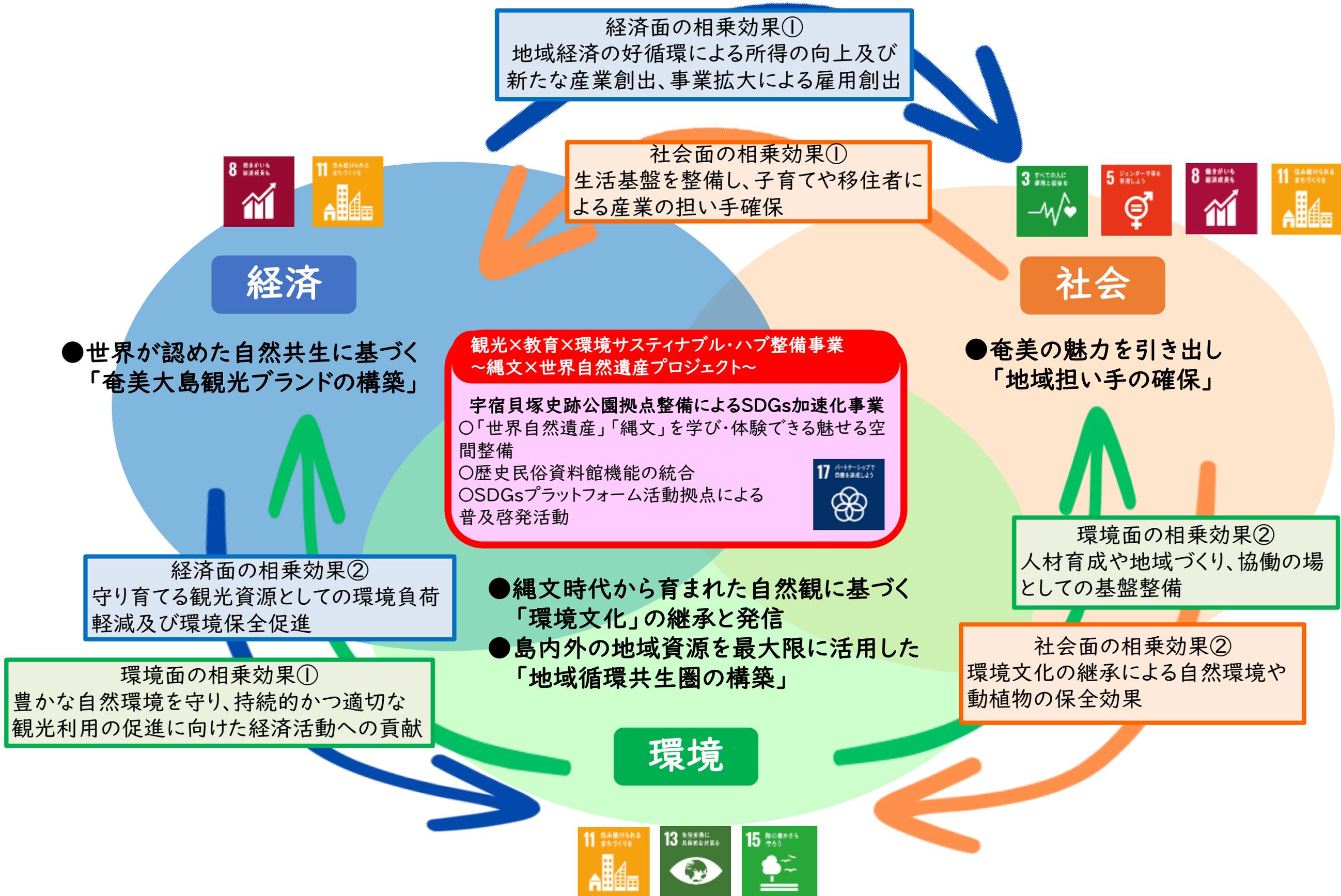
SDGs推進プラットフォーム運営



普及啓発等経費にて、奄美市SDGs推進プラットフォーム運営に要する経費及び情報発信におけるHPや宣伝物を作成する。

# 4. 経済・社会・環境の各側面の相乗効果

縄文時代の生活様式を今に伝える「宇宿貝塚史跡公園」の拠点整備を行い、『縄文型生活』及び『環境文化』を『SDGs』と併せて学び、情報発信するなど、SDGsを通じた観光・教育・環境拠点施設としての活用により三側面の相乗効果を目指す各種取組を行う。



## 5. 自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

整備後の拠点施設において事業実施

### SDGs推進体制の構築

#### 奄美市SDGs庁内推進本部

- ・庁内の横断的連携構築
- ・重点テーマの設定
- ・SDGs未来都市に向けた推進

#### 奄美市SDGs推進プラットフォーム

- ・SDGs推進パートナー登録・表彰制度
- ・会員交流・連携（パートナーシップ）
- ・奄美版SDGsの情報発信

### 多様なステークホルダーの参画

- ・SDGs推進パートナーの連携強化（意識・理解促進）
- ・講演会、ワークショップ、社会貢献活動を通じたパートナーシップの構築
- ・プラットフォーム活動、パートナーの活動の情報発信

オール奄美での取組



## 5. 自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

### ゴールに向けた取組

- ・あまみSDGsアクションプラン重点テーマ、指標達成に向け個別事業に取り組む



- ・自治体SDGsモデル事業の推進

宇宿貝塚史跡公園拠点整備

SDGs推進プラットフォーム運営事業

奄美らしい活動や高い社会的価値を生み出す活動の活性化に向け、多様な主体の連携であるプラットフォーム会員団体の自主的な活動として、オール奄美で地域に根付いた活動として自走化を目指す。

#### 〈官民プラットフォームとの連携〉

- ・奄美市SDGs推進プラットフォーム
- ・世界自然遺産活用プラットフォーム
- ・奄美市PPPプラットフォーム

#### 〈資金調達に向けた制度活用〉

- ・企業版ふるさと納税の活用
- ・クラウドファンディングの活用
- ・休眠預金の活用

#### 〈自律的好循環〉

- ・所得の向上
- ・雇用の創出
- ・担い手育成
- ・地域強靱化
- ・環境負荷軽減
- ・環境保全
- ・カーボンニュートラル
- ・地域活性